

幾山河

第38号

令和7年5月25日

発行

公益社団法人沼津牧水会

目次

ご挨拶	2
第71回 沼津牧水祭 「短歌大会」	3
第71回 沼津牧水祭 「碑前祭」	4
第37回 籬の歌会	5
文化講座	6
令和6年度事業報告	7
定款・編集後記	8



ご挨拶

若山三郎



榎本簗子前館長とともに

牧水は、沼津で子供達を自由に伸び伸びと育てたようで、旅人も同じように育ててくれ、それぞれが自分の好きな仕事を選ぶことが出来ました。

私は学生の頃から海外で仕事をしたかったので、海外研修生になり国際部勤務となり、ニューヨーク、香港、ドイツのデュッセルドルフに赴任し日本に戻ってから海外を飛び回っていました。

そのため牧水に関わる事は殆ど無い生活で、ましてや短歌とは無縁で過ごしてきました。

沼津は、父旅人母いく子とも度々訪れ、また大学の保養所が沼津御用邸の隣、島郷にあり、毎年合宿で来ていて沼津の海、富士山にも親しみを感じてきました。

そして父母からは沼津の人は心温かで心優しい人が多いと聞かされていて合宿に参加していた大学の友人達も口々に沼津が風光明媚で温暖でいい街と言っていたものです。

このように魅力ある沼津市若山牧水記念館の館長を文学とは縁の無い私が務める事に一抹の不安もありますが、自分なりに努力して精

一杯努めたいと思います。

私の大好きな牧水の歌はあの代表的な千本浜公園の歌碑にある

幾山河こえさりゆかば寂しさのはてなむ
国ぞけふも旅ゆく

です。

この歌には私の大好きな父旅人の「旅」の文字が最後に、そして最初に母いく子の「幾」の字が入っております。全くの偶然かもしれませんが牧水も自分の長男と長男の嫁さんの名前の文字が両方とも代表歌に入っていたとは驚いていることでしょう。

もしかして牧水は長男の嫁の名前まで予知する能力があったのかと思ってしまう。

これも牧水の自然、人、酒をこよなく愛する人柄を考えると、それも有りかなと思ってしまうので不思議です。

父旅人が沼津市若山牧水記念館の二代目館長をして姉の榎本簗子が三代目、そしてその後を私が引き継ぐことになり、身が引き締まる思いです。

これからは金子安夫沼津牧水会理事長はじめ皆様のご指導のもと少しでも記念館のお役に立てればと思っております。

どうぞよろしくお願いいたします。

この度、沼津市若山牧水記念館館長を仰せつかりました若山三郎でございます。

前館長で私の姉の榎本簗子が高齢になり、私がおのれを引き継ぐことになりました。私は、牧水の孫で、牧水長男旅人の三男にあたります。

第71回沼津牧水祭 短歌大会

十月六日(日)
午前十時三十分
沼津市立図書館
四階視聴覚ホール



第七一回「沼津牧水祭・短歌大会」は、講師に、第四歌集『虚空の橋』で第二〇回若山牧水賞を受賞された「音」発行人の内藤明先生をお迎えして開催された。会場は穏やかで落ち着いた雰囲気の中で催された。応募短歌は一〇五首、参加者は六〇人であった。

午前は「若山牧水の現代的意義―玉城徹の牧水論にふれながら―」と題する講演があった。内藤先生は、玉城徹が書いた牧水論を元にして、牧水について話された。

現代若者の中にもSNS等の影響から短歌ブームが起きつつある。短歌を詠み、何を考え、自分たちが生きている今をどのように考

えるのか？ということについて、玉城氏の牧水論の『海の声』、『独り歌へる』などについて話された。牧水は、恋愛の破綻、父の危篤の帰省頃から、破調の歌を多く作っている。ある意味では破調の時代を通過することによって、自然の激しい息遣いだけではなく、ゆるやかな流れのような世界にたどり着いた。自分を中心に置かず、自然の中に入り込んで、そのまま体現し読者に感じさせる。玉城氏は「牧水の短歌は芸術的逸品だ」と評価している。牧水の歌は単純明快に見えるが、多重性を見ることが出来る。玉城は誰かのためでなく、一人で楽しみたいんだという牧水の精神について非常に評価している。

人間は自然と共に生きていくことが大事。牧水が自然に求めた世界を学び、現代に生かしていくことができるのではないだろうかと締めくくられた。とても有意義な講演となった。午後は、参加者の出詠作品についての講評と表彰式が行われた。ゆつくりと丁寧に講評されて、参加者は真剣に聞き入った。

内藤先生選の沼津牧水賞三首と出詠者による互選賞七首を紹介する。

沼津牧水賞一席 秋田県大仙市 鈴木 仁
合歓はいま風に舞い咲く花となりデスクワークの眼を解きほぐす

沼津牧水賞二席 宮崎県日向市 黒木直行
ふるさとを訪ねる度に道迷う記憶ばかりを頼っていると

沼津牧水賞三席 山口県周南市 森元輝彦
月の夜を万羽の折り鶴眠らせて被爆ドームの翳深くする

市長賞 伊豆の国市 小川和子
谷あひに生れたる霧は山寺の鐘の響きを乗せて旅する

市議会議長賞 山口県周南市 森元輝彦
月の夜を万羽の折り鶴眠らせて被爆ドームの翳深くする

教育長賞 藤沢市 北島邦夫
夕餉の皿浸かるシンクにひかりさす妻が不在の二日目の朝

商工会議所会頭賞 御殿場市 後藤久枝
抜かんとし握ればピチピチはじけとび顔までとどくかたばみの種

観光協会会長賞 沼津市 菅野隆江
母さんとはばれる事もなくなりて墓にむかいて我子をよびぬ

沼津朝日新聞社賞 沼津市 永久保英敏
昼から髪ひとすじをつまむ夜施設の母は帰れたかろう

マルサン書店賞 静岡市葵区 山内文江
日(にち)を施設のベッドに生く夫に紙風船を上げて返せり

第71回 沼津牧水祭

碑前祭・芝酒盛

十月二十日(日)午前十一時

第七十一回沼津牧水祭碑前祭・芝酒盛が千本浜公園牧水歌碑前で行われた。雨が降る中の準備となり、天気心配されたが、式典開始の頃には曇りとなり、無事に開催の運びとなった。

頼重秀一沼津市長、奥村篤沼津市教育長、片岡章一沼津市議会副議長をはじめとする来賓の皆様にご臨席をいただき、東京、埼玉、愛知の牧水を顕彰する会の方々など、遠方からも多数のご参加をいただいた。

金子安夫沼津牧水会理事長の開会の挨拶、来賓を代表し頼重市長と奥村教育長からご祝辞をいただいた。



欠席された榎本篁子沼津市若山牧水記念館館長の代理として、若山三郎様が「幾山河」の歌碑へ献花、献酒を行い、挨拶と続いた。花柳凜様が太田法利雄氏朗詠による牧水短歌と詩をバックに日本舞踊を披露された。松林を背景に白地の着物で舞う姿はとても美しく、参会者の皆を魅了し、拍手喝采を浴びた。

次に、「中学生短歌コンクール」の表彰式が行われた。沼津市内十九校から一七八四首の応募があり、特選十首に選ばれた中学生たちの短歌が一人一人読み上げられ、温かい拍手の中表彰され、受賞者たちは、少し照れた様子で賞状を受け取る姿が印象的だった。

高田紹代様による牧水の「沼津を詠んだ歌」四首の独唱と「牧水のうた」を歌う会の合唱の美しい歌声が、松林に響き渡り、「碑前祭」の式典を終えた。

頼重市長、奥村教育長、片岡市議会副議長、若山芳男健海と牧水の碑を守る会会長、田原大三東京牧水会会長、若山三郎様による鏡開きにつづき、片岡市議会副議長の乾杯の音頭で、「芝酒盛」の開始となった。桃中軒のオリジナル弁当と、富士山餃子などを肴に「地酒」を酌み交わし、式典とは打って変わり、一気にお祭りの雰囲気となった。会場では、皆の笑顔が溢れ出した。



再び登場した高田紹代様の牧水「酒の歌」四首の独唱、岳心流沼津愛吟国風会の詩吟、ぬまづ観光ボランティアガイド・沼津ハーマモニ

カクラブ・千本ハーマモニカクラブ合同での合唱・合奏、みんなで歌おう「日本の歌・牧水の歌」と続いた。

最後は、裾野五竜太鼓保存会による迫力ある太鼓の演奏でお祭りは最高潮に達した。アンコールの声も何度も聞こえ、大いに盛り上がった。

秋らしい雰囲気の中、開催することができ、盛会裡に終わった。四百人近くの方々にご参加いただき、ありがとうございます。皆さまのご協力により、今年も無事に開催できたことに、関係者一同厚く御礼申し上げます。

お忙しい中、お手伝いいただいた方々にもこの場を借りて、重ねてお礼申し上げます。

第37回 雛の歌会

三月二日(日)
午後一時三十分
沼津市若山牧水
記念館ラウンジ



令和七年三月二日(日)、第三十七回「雛歌会」が沼津市若山牧水記念館で開催された。講師は「熾」代表の沖ななも先生である。午前中は雲が多かったが、午後になり晴天の歌会となった。応募短歌は八十六首、参加者は五十七名だった。

湯山昌樹理事が、沖ななも先生について紹介し「雛の歌会」が始まった。

沖先生は好きな牧水の短歌

きゆうとつまめばぴいとなくひな人形、

きゆうとつまみてびいとなかする

など四首紹介し、型にきっちりハマっている、いい、ユーモアと悲しみが表裏にあるところが

とても好きであると話された。その後、出席者の詠草を中心に講評が行われた。

先生の選ばれた短歌十首について紹介する

懸命に幼子は吹く 雨なんか吹き飛ばそ

うと言ったばかりに

北島邦夫

軽く言った言葉を受け、一生懸命な子ども

の純真さに注目していて非常にいい歌である。

ご馳走をいただくように口あけるガザの

子供らポリオワクチン

酒井晶子

ワクチンをご馳走のようにもらう子供、同

情とは違った感情を、重く歌はない所がよい。

からすが鳴くからかーえろ父母逝きて家

も逝きたり夕焼け空へ

清塚茅香子

おもしろい短歌。夕焼けに「実家がない」

「両親もいない」喪失感を重ねて表現している。

「これ捨てていいよね」「いいようかうか

と誘導尋問に応へてしまふ

前田鐵江

子供が断捨離にくる。「いいよね」と言われ

るとつい「いいよ」と答えてしまう。高齢女

性によくある場面を面白く歌っている。

病む嫁に届けんとしてペダルこぐ炊き込

み御飯の冷めないうちに

山田純子

「炊き込みご飯」や「ペダルこぐ」に病む嫁

を心配している様子がよくわかる歌。

外つ国を巡り巡りしスーツケース入院棟

の昇降機待つ

小川和子

若い時は旅行に持って行った鞆を入院のために使う。旅行と入院、若い時と今という対比をよく表している。

まさかりで風呂の新割るわが父を畏怖も

ち見たり

さよなら昭和

尾崎知子

畏怖というのは尊敬を含んでいる。たくましい父や昭和も遠くなった。時代と自分を結び付けているところがよい。

切らざればかぐや姫ねと子に言ひぬへア

ドネーション三度目の春

宮川良子

切ったものに対する哀惜とともに、ヘアドネーションをする子供への思いも含んでいる。

忌み明けの読経終えたる寺庭に陽は薄薄

と年の瀬となる

山内文江

忌み明けをほっとして迎えている。山を越えてほっとしている感じがよく現れている。

四歳がそとつまみしだんご虫二歳こわ

こわ受ける手のひら

川辺典代

四歳と二歳の子の関係や年齢の差がよくわかる。結句が結論となるため「受ける」と「手のひら」が反対のほうがよいかもしれない。

短歌は具体的な表現を入れておくと、伝わりやすくなる。「二字あき」「句読点」はなるべく使用しないほうがよいが時にはありである。直されてこそ成長があると厳しい中にも

愛がある講評をいただき貴重な時間となった。

文 化 講 座

書 道 講 座

日 時 令和6年4月～令和7年3月 毎月第3火曜日 午後(全10回)

講 師 成 田 真 洞 氏



初心者のための短歌講座

日 時 令和6年4月～令和7年2月

毎 月 第2土曜日 午前(全10回)

講 師 永 久 保 英 敏 氏



牧水記念館短歌会

日 時 令和6年4月～令和7年2月

毎 月 第2土曜日 午後(全10回)

講 師 永 久 保 英 敏 氏



令和6年度事業報告

令和6年4月1日～令和7年3月31日

1 総会

第38回定時会員総会

日時:令和6年5月18日(土)午後3時～4時10分

会報 第37号 令和6年5月25日発行

館報 第73号 令和6年9月1日発行

第74号 令和7年3月5日発行

2 理事会

第1回(通算200回)理事会 令和6年4月19日(金) 午後6時 ～7時50分

第2回(通算201回)理事会 令和6年5月18日(土) 午後4時10分～4時20分

第3回(通算202回)理事会 令和6年7月31日(水) 午後6時 ～6時30分

第4回(通算203回)理事会 令和6年11月26日(火) 午後6時 ～7時30分

第5回(通算204回)理事会 令和7年3月14日(金) 午後6時 ～7時30分

1 調査研究事業

(1) 若山牧水関係資料の収集

(2) 若山牧水顕彰しまなみ大会(主催:若山牧水しまなみ顕彰会)

日時:令和6年5月19日(日)午前9時

会場:愛媛県今治市 みなと交流センター

内容:四国初となる全国大会へ向けたプレ全国大会

基調講演、シンポジウム、岩城島、しまなみクルージング

(3) 第74回 日向市の「牧水祭」へ祝電(主催:日向市、日向若山牧水顕彰会)

日時:令和6年9月17日(火)午前9時30分

会場:宮崎県日向市東郷町坪谷 若山牧水生家東側夫婦歌碑前

及び牧水公園「ふるさとの家」

(4) 第68回 暮坂峠「牧水まつり」へ祝電(主催:牧水詩碑保存会)

日時:令和6年10月20日(日)午前11時

会場:群馬県吾妻郡中之条町 暮坂峠

(5) 第24回「百草園牧水歌碑祭」へ参加(主催:東京牧水会)

日時:令和6年10月27日(日)午前11時

会場:東京都日野市百草 京王百草園 牧水歌碑前

参加者:金子安夫、北村正昭、原悦子、三宅芳則、山下数高

(6) 第29回 若山牧水賞授賞式(主催:宮崎県、宮崎県教育委員会、

宮崎日日新聞社、延岡市、日向市)

日時:令和7年1月30日(木)午後3時

会場:授賞式 宮崎市 ザ・メイビア宮崎

(7) 第91回 延岡市の「牧水歌碑祭」へ祝電(主催:若山牧水延岡顕彰会)

日時:令和7年3月16日(日)正午

会場:延岡市 城山公園内 牧水歌碑広場

2 第71回沼津牧水祭の運営

(1) 短歌大会

日時:令和6年10月6日(日)午前10時30分～午後3時30分

会場:沼津市立図書館 視聴覚ホール

講師:内藤 明 先生(『音』発行人、第20回若山牧水賞受賞者)

応募短歌:105首

参加者:60人

(2) 碑前祭・芝酒盛

日時:令和6年10月20日(日)午前11時～午後2時

会場:千本浜公園 牧水歌碑前

参加者:400人

3 文学講演会及び文学講座等の開催

(1) 第37回「雛の歌会」

日時:令和7年3月2日(日) 午後1時30分～4時

会場:沼津市若山牧水記念館ラウンジ

講師:沖 ななも 氏(『織』代表)

応募短歌:86首

参加者:57人

(2) 初心者のための短歌講座

日時:令和6年4月～令和7年2月

毎月第2土曜日 午前10時～12時

会場:沼津市若山牧水記念館会議室

講師:永久保 英敏 氏

参加者:10回開催 延べ115人

(3) 牧水記念館短歌会

日時:令和6年4月～令和7年2月

毎月第2土曜日 午後1時30分～3時30分

会場:沼津市若山牧水記念館会議室

講師:永久保 英敏 氏

参加者:10回開催 延べ78人

(4) 書道講座

日時:令和6年4月～令和7年3月

毎月第3火曜日 午後1時～2時

会場:沼津市若山牧水記念館会議室

講師:成田 真洞 先生

参加者:10回開催 延べ90人

・令和6年度「書道講座」受講者作品展示

期 日:令和7年3月4日(火)～令和7年3月23日(日)

会場:沼津市若山牧水記念館ラウンジ

入場者:275人

(5) 第35回「中学生短歌コンクール」募集・表彰

募集期間:令和6年5月1日(水)～令和6年7月31日(水)

応募短歌:1,784首(19校 1,784人)

入選短歌:特選10首、入選39首

選 者:永久保 英敏、河本 尚子、湯山 昌樹、勝俣 文子

表 彰:令和6年10月20日(日)「第71回沼津牧水祭・碑前祭」にて

公益社団法人沼津牧水会定款（抜粋）

- 第一条 この法人は、公益社団法人沼津牧水会と称する。
- 第二条 この法人は、主たる事務所を静岡県沼津市千本郷林一九〇七番地の二に置く。
- 第三条 この法人は、歌人若山牧水を顕彰し、文学的業績の研究を深め、短詩型文学の普及を図り、もつて、教育文化の振興に寄与することを目的とする。
- 第四条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 歌人若山牧水に関する調査研究
- (2) 沼津牧水祭（短歌大会及び碑前祭）の運営
- (3) 文学講演会、文学講座等の開催
- (4) 沼津市若山牧水記念館の管理運営の刊行
- (5) 沼津市若山牧水記念館の管理運営の受託
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業
- 第五条 この法人に次の会員を置く。
- (1) 正会員 この法人の目的に賛同して入会した個人又は団体
- (2) 賛助会員 この法人の事業を援助する個人又は団体
- (3) 名誉会員 この法人に特に功労のあつた者で、会員総会の決議をもって推薦されたもの
- 第六条 前項の会員をもつて、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員とする。
- この法人の会員にならうとするものは、入会申込書を理事長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。ただし、名誉会員に推薦された者は、入会の手続を要せず、本人の承諾をもつて会員となるものとする。
- この法人の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、会員になった時及び毎年、会員は、会員総会において別に定める額を支払う義務を負う。
- 第七条
- 公益社団法人沼津牧水会入会金及び会費規程
- 第一条 この規程は、公益社団法人沼津牧水会定款第七条に基づき、入会金及び会費について定めることを目的とする。
- 第二条 定款第七条第一項に規定する入会金は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 一〇、〇〇〇円以上
- (2) 賛助会員 三〇、〇〇〇円以上
- 第三条 定款第七条第一項に規定する会費は、次のとおりとする。
- (1) 正会員 五、〇〇〇円（年額）
- (2) 賛助会員 一〇、〇〇〇円以上（年額）

（理事長）金子 安夫（副理事長）河辺龍二郎 永久保英敏
 （理事）浅井 治 田中 和男 長澤 靖夫 河本 尚子
 飛澤浩四郎 湯山 昌樹 栗原 進
 （監事）西家 孝 水田 真道
 （事務局）大島 葉子 納谷 瑞穂 市川 悦子 八木久美子

編集後記

昨年の能登半島地震から一年が経過し、いよいよ復興へと向かっていった矢先に九月の豪雨被害を受けられました。被害をうけられた人々に平穏な日々が一日も早く戻ることを希っております。

本年は穏やかに出発しましたが、米国大統領就任後は関税合戦等が原因で不安定さを増し、気象状況の変化で山林火災も続発、また、物価上昇、多くの問題が起きております。

しかし、メジャーリーグの大谷翔平選手の大活躍には目を見張るものがあります。若い人が頑張っている姿に励まされ、希望を見出す事ができる気がしてきます。

国内での開催は二十年ぶり六回目となる、大阪・関西万博も開催されました。その経済効果は約三兆円になる見込みということです。今後の日本経済に期待したいところです。

若山牧水の短歌を通して、牧水の魅力・牧水の愛した沼津の魅力を知り、地域を盛り上げていく一助ができればと思っています。またインスタグラムやフェイスブックも開設いたしました。よろしければ、フォローをお願いいたします。微力ながら地域の発展に尽力していきたい所存です。皆様にも、お力添えをいただければ幸いです。

「沼津牧水祭・短歌大会」には内藤明先生を、「離の歌会」には沖ななも先生をお迎えし、それぞれ充実した歌会となりました。「沼津牧水祭 碑前祭・芝酒盛」は、会場に多くの方々が集い、盛會裡に催すことができました。「中学生短歌コンクール」では十九校一七八首の応募がありました。「短歌講座」「短歌会」「書道講座」も好評でした。三月に行われた「書道講座」の方達による「作品展」も多くの方に会場いただきました。

なお、沼津市若山牧水記念館館長の榎本寛子氏が退任し、若山三郎氏が新たに就任いたしました。新たな館長のもと、皆さまに楽しんでいただけるイベントを開催していきたいと思っております。

本年度も変わらぬご支援をお願い申し上げます。